

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00359 )

事務事業名称	新たな地域交通の整備				款 05 項 01 目 01 事業 006	整理番号	351	
現担当課名	都市整備部管理課	係名	交通企画担当		連絡先電話番号	3514	昨年度整理番号	350
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和61年度	実行計画事業	目標 02	施策 06	計画事業 01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 4年度担当課名	都市整備部管理課				事業評価区分	一般		

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民、交通事業者、国、東京都	根拠法令等	( 1 ) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 ( 2 ) 杉並区地域公共交通活性化協議会条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民にとって利便性の高い移動環境の創出に向けて、杉並区地域公共交通計画に基づき、誰にとっても移動しやすい地域交通環境を整備する。 交通利便性の向上を図り、地域間の交流を促進するため、環状八号線を基本的な導入空間とした区部周辺の環状交通をはじめとした新たな地域交通を整備する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	杉並区地域公共交通活性化協議会の開催数 開催数による
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区地域公共交通活性化協議会を開催する。 MaaS等の新技術を活用した移動サービスの調査・研究を実施する。 区有地を活用したシェアサイクルの実証実験を実施する。 グリーンスローモビリティの実証実験を実施する。 。エイトライナー構想実現のための調査・研究及び促進活動を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	交通の便が良いと感じている区民の割合 区民意向調査による【区民】 できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合 区民意向調査による【区民】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	0	0	1	3	3	2	100.0	98.6
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 %	93.5	95.0	93.8	95.2	93.5	95.4	98.2	
成果指標 ( 2 )	4 %	91.5	92.1	91.7	92.3	93.1	92.5	100.9	
事業費	5 千円	300	14,059	10,953	11,693	11,528	17,972	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,826	5,102	7,581	8,343	11,895	16,636	「杉並区地域公共交通計画」に基づき、成果指標の変更を行っています。 グリーンスローモビリティの車両購入を予定しているため、事業費が増加しています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	4,126	19,161	18,534	21,874	25,262	36,447		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	2,764	0	3,899	4,900	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	2,764	0	3,899	4,900	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	4,126	19,161	15,770	21,874	21,363	31,547	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 351

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区地域公共交通活性化協議会の開催	3	回	272
	杉並区地域公共交通計画策定に係る調査等支援業務委託	1	件	6,798
	グリーンスローモビリティ実証実験支援業務委託	1	件	3,996
	シェアサイクルの実証実験	3	社	0
	その他 ( エイトライナー促進協議会負担金など )			462
取組成果	<p>杉並区地域公共交通活性化協議会を3回開催し、令和5年3月に「杉並区地域公共交通計画」を策定しました。</p> <p>また、新たな移動サービスの導入に向けて、グリーンスローモビリティの実証運行を実施するとともに、情報発信アプリによるMaaSの実証実験を実施しました。</p> <p>シェアサイクル事業については、公園等の区有地を活用し、公民連携により実証実験を行った結果、区民の移動サービスの充実につながることが確認できたことから、本格実施に移行しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>「杉並区地域公共交通計画」に基づく、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取組を推進するため、MaaS等の新技术を活用したサービスの調査・研究、グリーンスローモビリティ等の新たな移動サービスの導入検討、公共交通を補完するシェアサイクル事業等の取組が必要です。また、持続可能な地域交通の形成等には、区民が少しずつ自発的に、公共交通や徒歩・自転車などの多様な移動手段を、適度にかしこく利用する状態へと行動変容を促す取組を実施することが求められます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>「杉並区地域公共交通計画」において、実施時期を短期 (令和5~8年度) と位置付けたAIオンデマンド交通の実証実験を実施する必要があります。AIオンデマンド交通は、すぎ丸の代替として交通不便地域を対象に導入する予定ですが、実証実験に際しては、対象地域の選定や実施方法等について十分検討することが必要となります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>グリーンスローモビリティの運行事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。今後は、運行事業者と共に運行計画を策定します。</p> <p>杉並区地域公共交通活性化協議会に、AIオンデマンド交通の検討に向けた検討部会を設置します。検討部会では、パーソントリップ調査等のデータを活用して検討を進めるため、委託事業者によりデータ分析を実施します。</p> <p>自転車活用推進計画の年度内の策定に向けて、計画の骨子案を作成し、各協議会に報告・意見聴取を行いました。今後は、11月までに計画案を作成し、12月からパブリックコメントを実施します。計画策定業務は、有識者の助言や区民の意見等を踏まえて、職員が計画案を作成します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>グリーンスローモビリティは、令和6年11月の事業開始に向け、関係機関と調整を行います。また、MaaSの実証実験に向けて、既存のMaaSアプリの調査・研究を行い、他地域へ波及効果のあるモデルケースを構築します。</p> <p>AIオンデマンド交通の検討は、バス、タクシー事業者と十分に議論を重ねます。さらに、実証実験における導入効果を検証し、既存の路線と競合しないように調整を図ります。</p> <p>自転車活用推進計画は、この間の有識者からの助言や区民意見等を踏まえると、交通安全の取組の強化が不可欠です。そのため、計画案の作成に当たっては、自転車活用の意義を周知するとともに、自転車関与事故の減少に向けた具体的かつ効果的な取組を盛り込んでいきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区地域公共交通計画に基づき、グリーンスローモビリティの導入を含め、短期施策に位置付けられた各事業を実施する予定です。新規事業であるグリーンスローモビリティやMaaS、AIオンデマンド交通など必要な経費は純増となりますが、区民の移動課題の解決や生活の質の向上、ひいては杉並区のブランド力向上に資する取り組みになるため、着実に実施できるよう適切に予算を計上します。また、これらの新モビリティサービス等を活用し、温暖化対策の一環として、過度な自動車依存から、区民が少しずつ自発的に、公共交通や徒歩・自転車などの多様な移動手段を、適度にかしこく選択するよう行動変容を促すための、モビリティマネジメントの実施も予定しています。</p> <p>自転車に関しては、これまでの取組に加え、新たな計画に基づき、自転車の価値・魅力の発信や交通安全の取組強化など、新規の取組を複数実施する予定です。これらを実施するため、PRポスター作成費や未就学児向け自転車教育プログラム委託費などが必要となります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00389 )

事務事業名称	有料制自転車駐車場の運営			款	05	項	02	目	01	事業	003	整理番号	382
現担当課名	土木管理課		係名	自転車対策係			連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	382		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 6年度	実行計画事業	目標 02	施策 06	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	土木管理課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	有料制自転車駐車場の利用者	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区立自転車駐車場条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	自転車利用者を区立自転車駐車場 (有料制自転車駐車場) に誘導、収容し、駅周辺等公共の場所における自転車の放置を防止することで、区民の良好な生活環境の向上に資する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	区立自転車駐車場収容台数 年度末日現在の数値。自転車のみの収容台数で、自動二輪車は含まない。 区立自転車駐車場利用率
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	自転車駐車場の受付案内、自転車整理等の管理業務や警備を業務委託して、有料制自転車駐車場を運営する。 有料制自転車駐車場の施設・設備の保守等、維持管理を行う。	指標説明	成果指標	平日の晴天日における年間駐車台数 ÷ 収容可能台数。自転車のみの利用率で、自動二輪車は含まない。
		成果指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	自転車放置率 放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 台	25,903	25,901	25,850	25,835	25,746	25,500	99.7	99.5
活動指標 ( 2 )	2 %	54	80	59	80	64	80	80.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	4	3	4	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	797,829	873,662	838,864	832,353	828,073	889,876	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	37,922	41,700	43,353	36,190	37,593	37,431	
	上記以外の職員	7 千円	2,902	2,902	2,940	2,940	2,942	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	838,653	918,264	885,157	871,483	868,608	927,307		
財源	受益者負担分	9 千円	506,001	555,684	537,635	589,653	569,007	575,352	
	国・都からの補助金	10 千円	4,906	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	510,907	555,684	537,635	589,653	569,007	575,352	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	327,746	362,580	347,522	281,830	299,601	351,955	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 382

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	自転車駐車場の運営・警備業務委託		44	か所
	自転車駐車場の用地・施設の賃借	21	か所	298,315
	自転車駐車場の維持補修委託 (設備保守点検、建物総合保守点検等)	44	か所	41,065
	光熱水費の支出	44	か所	31,091
	その他 ( 機器の賃借、消耗品購入ほか )			47,539
取組成果	近年、増加傾向にある大型自転車対策として、既設ラックの撤去 ( 3 か所 ) を行い、大型自転車用駐車スペースを拡充しました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	現在、業務委託による直営方式で自転車駐車場の管理運営を行っていますが、機械式ゲートの導入やキャッシュレス化、帳票の電子化などを進め、自転車駐車場の利便性向上を図る必要があります。
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	区立自転車駐車場 ( 4 4 所 ) のうち 4 所について、鉄道事業者による運営移行のための準備を行いました。その他の 4 0 所については自転車駐車場の利便性向上に向け、設備の老朽化やデジタル化への対応等の課題も踏まえ、適切な管理・運営方針の検討を行いました。 また、大型自転車対策として久我山西自転車駐車場の拡張工事に伴い、大型自転車スペースを整備しました。 自転車駐車場運営に係る経費は、概ね予算執行計画通りに執行できる見込です。
事業の方向性・改善策	自転車駐車場の管理運営については、より効率的な管理運営や区民サービスの向上につながる手法など、適切な管理・運営方針を検討し、その方針に基づく取組を実施していきます。 また、大型自転車対策として今後も引き続き、駐車場の利用状況や利用率を見極めながら、大型自転車用の駐車スペースの確保を図っていきます。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	大型自転車対策等にかかる工事費、施設の老朽化に伴う修繕や設備更新を行う費用の増加が見込まれるなか、年度間の財政負担が偏ることのないよう、年次計画を作成し、計画的・効果的に進めていきます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00390 )

事務事業名称	放置自転車対策の推進				款	05	項	02	目	01	事業	004	整理番号	383	
現担当課名	土木管理課		係名	自転車対策係		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	383					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	土木管理課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	駅周辺に乗り入れる自転車利用者	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	放置自転車の撤去及び、放置防止活動により、駅周辺等公共の場所における自転車の放置をなくし、区民の良好な生活環境の向上に資する。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	撤去台数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	放置禁止区域を中心に、放置自転車の撤去、返還、処分を行う。 駅周辺放置禁止区域内での路面ステッカー貼付、放置禁止区域表示看板等の設置、修理を行う。 駅周辺の商店会会員等を放置防止協力員として委嘱し、放置防止活動を行う。 駅前放置自転車クリーンキャンペーンを行う。	指標説明	成果指標	自転車放置率
		指標説明	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【行政】 放置自転車台数 ( 1日平均 ) 放置禁止区域内の放置台数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 台	8,911	4,190	8,135	3,900	8,452	8,029	216.7	97.4
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 %	4	3	4	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 2 )	4 台	831	800	888	800	921	800	115.1	
事業費	5 千円	205,014	226,131	205,356	208,248	202,750	214,083	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	45,594	50,630	52,471	56,169	58,212	42,412	
	上記以外の職員	7 千円	726	726	735	735	736	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	251,334	277,487	258,562	265,152	261,698	256,495		
財源	受益者負担分	9 千円	22,160	20,950	20,580	19,500	22,690	24,150	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	22,160	20,950	20,580	19,500	22,690	24,150	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	229,174	256,537	237,982	245,652	239,008	232,345	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 383

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	放置自転車撤去・返還・処分業務			
	放置自転車対策業務委託	5	件	96,441
	放置防止指導・啓発業務			13,117
	放置防止協力員活動	349	人	391
	その他 ( )			
取組成果	放置自転車撤去業務のほか、自転車駐車場誘導業務 (土・日・祝日) や放置防止啓発活動などを行い、駅周辺の放置自転車の減少に取り組みました。駅周辺の放置自転車台数 (1日平均) は、令和3年度888台、令和4年度921台となり、前年度と比べ微増となりました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	新型コロナウイルスの影響により令和2年度は、駅周辺への自転車の乗り入れ台数の1日平均は減少しましたが、令和3年度以降は増加傾向にあり、駅周辺の放置台数も微増となりました。 【乗入台数】平成30年度30,074台 令和2年度20,492台 令和3年度23,427台 令和4年度24,737台 【放置台数】平成30年度 913台 令和2年度 831台 令和3年度 888台 令和4年度 921台
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	新型コロナウイルスの影響により令和2年度は、駅周辺への自転車の乗り入れ台数の1日平均は減少しましたが、令和3年度以降は増加傾向にあり、駅周辺の放置台数も微増となりました。 放置自転車対策に係る経費は、概ね予算執行計画通りに執行できる見込です。
事業の方向性・改善策	放置自転車台数は、放置自転車対策の着実な実施により、事業開始当初に比べ大幅に減少しています。引き続き、駅周辺の放置自転車の削減を目指し、区の撤去活動や地域の放置防止協力員による放置防止活動などを実施していきます。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	放置自転車の削減目標 (800台) を達成するために、これまでの放置防止啓発活動や撤去活動を継続していきます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00391 )

事務事業名称	自転車等駐車対策協議会の運営			款	05	項	02	目	01	事業	005	整理番号	384	
現担当課名	土木管理課	係名	自転車対策係	連絡先電話番号	3454			昨年度整理番号	384					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 7年度													
令和 4年度担当課名	土木管理課	事業評価区分	一般											

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	自転車等の利用者	根拠法令等	( 1 ) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 ( 2 ) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議し、自転車対策に関する施策に反映させることで、自転車等の利用者の安全と利便性の向上を図る。	活動指標	協議会開催回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民、区議会議員、学識経験者、鉄道事業者、道路管理者、交通管理者などが出席し、自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。	成果指標	自転車放置率
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【行政】
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 回	0	2	1	2	0	2	0.0	1.1
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 %	4	3	4	3	3	3	100.0	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	2	475	201	475	5	475	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,127	2,683	2,744	3,833	3,825	4,159	令和 4年度は新型コロナウイルスの影響等により協議会を開催しなかったため、予算執行率が低くなっています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	3,129	3,158	2,945	4,308	3,830	4,634		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	3,129	3,158	2,945	4,308	3,830	4,634	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 384

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	通信運搬費の支出			
	その他 ( )			
取組成果	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、協議会は未開催となりましたが、杉並区の放置自転車対策等に関わる取組状況について、各委員へ情報提供を行いました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>放置自転車台数は、協議会の意見を踏まえて策定した自転車利用総合計画に基づく取組等により、即時撤去が可能となった平成5年改正自転車法施行前の平成4年度の11,946台から令和4年度は1/10以下の921台となり、大きな成果を上げています。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの終息も見え始め、放置自転車台数は令和2年度の831台から令和3年度の888台、令和4年度の921台と増加傾向にあります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	協議会は計画通り2回開催し、区の放置自転車対策の概要や「杉並区自転車活用推進計画(素案)」の説明を行い、それに対する各委員からの意見聴取と今後の予定の報告を行いました。
事業の方向性・改善策	引き続き、放置防止啓発活動や撤去活動を着実に実施し、自転車等駐車対策の課題解決のため、協議会を開催していきます。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	「杉並区自転車利用総合計画」を包含する「杉並区自転車活用推進計画」は令和5年度策定を予定しています。策定に向けて取り組んできた協議会との連携を更に強め、令和6年度を始期とする「杉並区自転車活用推進計画」を推進していきます。	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00392 )

事務事業名称	自転車駐車場等整備				款	05	項	02	目	01	事業	006	整理番号	385	
現担当課名	土木管理課		係名	自転車対策係		連絡先電話番号	3454		昨年度整理番号	385					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	03							
令和 4年度担当課名	土木管理課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象 自転車等の利用者	根拠法令等 ( 1 ) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 ( 2 ) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車駐車場を整備し、自転車の放置を防止することで、良好な生活環境を整える。また、自転車やバイクの駐車場が不足している駅周辺においては、民営駐車場の建設を促進する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 自転車駐車場等の整備台数 指標説明 有料制自転車駐車場、自転車置場等の整備台数 指標名 ( 2 ) 民営自転車駐車場への建設費補助整備台数 (累計) 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 自転車駐車場用地を確保し、整備を行う。新たに民営 (自転車・バイク) 駐車場を設置する者に対し、その建設費や運営経費 (バイクは除く) の一部を補助する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 放置自転車台数 (1日平均) 指標説明 放置禁止区域内の放置台数【行政】 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 ( 1 )	1 台	26,413	26,411	26,360	26,345	26,256	26,010	99.7	93.0
活動指標 ( 2 )	2 台	2,401	2,481	2,513	2,585	2,513	2,585	97.2	
成果指標 ( 1 )	3 台	831	800	888	800	921	800	115.1	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	3,598	75,535	65,039	60,555	56,330	29,901	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,168	4,743	4,918	5,502	5,655	4,159	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	8,766	80,278	69,957	66,057	61,985	34,060		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	5,000	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	5,000	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	8,766	80,278	64,957	66,057	61,985	34,060	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 385

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	内容	規模	単位	事業費 (千円)
	民営自転車駐車場育成補助 (管理費)	4	か所	636
	公有財産購入	1	か所	55,694
	その他 ( )			
取組成果	<p>民営自転車駐車場育成補助事業は、2駅4か所 (阿佐ヶ谷駅、久我山駅) の管理費補助を行いました。 また、久我山西自転車駐車場の拡張用地 (240.37㎡) を購入しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>子供乗せ自転車など大型自転車の増加に伴い、大型自転車用駐車スペースの増設や効率的で使いやすいラックの設置など、利用者の要望や需要に対応していく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>民営自転車駐車場育成補助事業は、2駅3か所 (阿佐ヶ谷駅、久我山駅) の管理費補助を行いました。 また、久我山西自転車駐車場の拡張工事を実施し、大型自転車の駐車スペースを整備しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>子供乗せ自転車など大型自転車の増加に伴い、大型自転車用駐車スペースの増設や効率的に収容できるラックの設置など、利用者の要望や需要に対応していく必要があります。 民営自転車駐車場の整備は、駅周辺における収容台数の確保に有効なことから、今後も育成補助事業の周知を行うなど、普及促進を図ります。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>自転車駐車場が不足する地域においては、用地確保等が困難なことや、区立の自転車駐車場の新設には時間を要することから、引き続き民営自転車駐車場育成補助の活用を周知し、民営駐車場整備の更なる促進を図ります。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00415 )

事務事業名称	街路灯の維持補修	款	05	項	03	目	04	事業	001	整理番号	408
現担当課名	杉並土木事務所	係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	409	
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和35年度										
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すべての区道利用者	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第281条の2第2項 ( 2 ) 道路法第2条第2項、16条、42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	既設街路灯を適正な状態に維持管理することにより、区道の安全性を維持する。	活動指標	街路灯管理数
		指標名 ( 1 )	街路灯の年間管理灯数
		指標説明	街路灯の年間管理灯数
		指標名 ( 2 )	街路灯修理件数
		指標説明	街路灯の年間修理件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設街路灯の蛍光ランプ取替、水銀ランプ取替、ボール等の塗装、破損修理、故障修理を行うとともに、電気料の支払を行う。	成果指標	街路灯稼働率
		指標名 ( 1 )	$\frac{((\text{街路灯管理灯数} \times 365 \text{日}) - \text{街路灯修理件数})}{\text{街路灯管理数} \times 365 \text{日}} \times 100$ 【行政】
		指標説明	街路灯修理率
		指標名 ( 2 )	$(\text{街路灯修理件数} \div \text{街路灯管理灯数}) \times 100$ 【行政】
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 ( 1 )	1 灯	25,453	25,483	25,466	25,496	25,469	25,499	99.9	93.0	
活動指標 ( 2 )	2 件	709	1,019	782	1,020	516	1,020	50.6		
成果指標 ( 1 )	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
成果指標 ( 2 )	4 %	3	4	3	4	2	4	50.0		
事業費	5 千円	246,016	173,108	151,731	165,365	153,777	194,157	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	16,399	12,573	12,326	12,242	12,140	13,388		
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	264,229	187,495	165,895	179,445	167,756	209,384			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	264,229	187,495	165,895	179,445	167,756	209,384		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 408

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	街路灯の故障修理委託		516	件
	光熱水費の支出			83,748
	蛍光ランプ等の一斉取替	756	灯	23,967
	水銀ランプ等の一斉取替	117	灯	17,749
	その他 (ポール等の塗装、破損修理 )			15,337
取組成果	<p>既設街路灯の予防保全として、蛍光ランプ等の一斉取替、水銀ランプ等の一斉取替、ポール等の塗装を行い、また事後保全として、故障修理、破損修理を行うことにより、年間を通じて街路灯の維持管理に取り組みました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>街路灯の約93%が、光源が長寿命なLED化されたことにより、球切れなど故障発生の低減が期待されるものの、依然として従来光源の蛍光灯等が残っているため、引続き街路灯の維持管理に努めていく必要があります。</p> <p>また、電気料については、様々な社会情勢の影響により、変化の予測が困難な状況にあります。このような状況下であっても、街路灯の安定的な点灯が図られるように努めていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>既設街路灯の蛍光ランプ等の一斉取替、故障修理、破損修理を行いました。また、年度末に向け、故障修理や破損修理に加え、水銀ランプ等の一斉取替、ポール等の塗装を行います。</p> <p>これらの予算執行については、概ね予算額どおりと見込んでいます。また、電気料については、増加傾向にあるものの、予算内で収まる見込みで推移しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>予防保全である蛍光ランプ等の一斉取替などの箇所数は、LED化が進んだことにより減少が見込まれます。事後保全である故障修理は、LEDが長寿命であることから減少が見込まれます。一方、電気料については増加傾向にあります。</p> <p>安定的な街路灯の点灯のためには、日常的な維持補修は不可欠です。事業としては今後も継続していく必要があります。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>LEDへの移行により、従来光源の蛍光灯等が減少することで、蛍光ランプ等の一斉取替などは対象数が減少します。また、LEDは長寿命であることから、故障修理の減少が見込まれます。一方、破損修理、ポール等の塗装は現状維持、電気料は増加傾向にあります。このため全体として、予算の方向性は現状維持を見込んでいます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00416 )

事務事業名称	街路灯の新設・改修			款	05	項	03	目	04	事業	002	整理番号	409
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	410		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	投資事業				
事業開始	昭和35年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	05					
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すべての区道利用者	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第281条の2第2項 ( 2 ) 道路法第2条第21項、16条、42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、区道の安全性を向上させる。	活動指標	街路灯新設数
		指標名 ( 1 )	街路灯の年間新設灯数
		指標説明	街路灯改修数
		指標名 ( 2 )	街路灯のLED照明への年間改修灯数
		指標説明	
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民からの要望や職員による現地確認に基づき、必要な箇所にLED街路灯を新設する。 既設街路灯をCO2排出量が少なく長寿命で高効率なLED街路灯へ改修する。	成果指標	街路灯整備率
		指標名 ( 1 )	( 街路灯新設数 ÷ 街路灯新設計画数 ) × 100 【行政】
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	街路灯改修率
		指標説明	( 街路灯改修数 ÷ 街路灯改修計画数 ) × 100 【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 灯	15	30	17	30	14	30	46.7	85.0
活動指標 ( 2 )	2 灯	3,409	2,300	2,892	1,040	1,570	1,015	151.0	
成果指標 ( 1 )	3 %	50	100	57	100	47	100	47.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	140	100	126	100	151	100	151.0	
事業費	5 千円	254,145	299,411	245,383	221,578	188,440	221,044	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	17,419	19,970	19,501	15,580	15,467	14,885	実行計画の改定により、改修計画数量が見直されたことにより、事業費が前年度から減少しました。 また街路灯器具改修工事において、予定額と落札額に差があったため、工事請負費に執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	271,564	319,381	264,884	237,158	203,907	235,929		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	271,564	319,381	264,884	237,158	203,907	235,929	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 409

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	街路灯の改修		1,570	灯
	街路灯の新設	14	灯	9,449
	その他 ( )			
取組成果	街路灯新設・改修工事、街路灯器具改修工事により、街路灯の新設と既設街路灯のLED化に取り組みました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	街路灯の新設については、区道の全路線で概ね設置が完了しているものの、電柱移設などの影響による不均衡是正など、適宜街路灯を新設していく必要があります。 街路灯の改修については、既設街路灯の約93%がLED化されたものの、未改修の街路灯には、駅前広場内で交通量が多く、光源高さがより高いといった、施工がより難しいものが含まれています。これらを計画的に改修していく必要があります。
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	街路灯の新設と改修 (LED化) について、計画の約半数を概ね予定どおり行いました。また年度末に向け、街路灯の新設と改修 (LED化) の残り予定数を行います。 これらの予算執行については、概ね予算額どおりと見込んでいます。
事業の方向性・改善策	街路灯の新設は、電柱移設などの影響による不均衡是正に対応するなど、今後も継続していく必要があります。また街路灯の改修は、LED化の完了に向け、引続き取り組む必要があります。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	街路灯の新設は区民要望の他、商店街装飾灯の撤去に伴うものや、電柱移設などの影響による不均衡是正など、予測が難しい部分があり、来年度は現年度と同程度の計画数としております。また街路灯の改修は、LED化完了予定の令和8年度に向け、予定数が減少します。このため全体として、事業コストの方向性は減少を見込んでいます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00417 )

事務事業名称	民有灯の助成（維持補修）			款	05	項	03	目	04	事業	003	整理番号	410
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	411		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和46年度												
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すべての私道利用者	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第232条の2 ( 2 ) 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	既設私道街路灯を適正な状態に維持管理することにより、私道の安全性を維持する。	活動指標	私道街路灯修理件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設私道街路灯の蛍光ランプ取替、ポール等の塗装、破損修理、故障修理を行うとともに、電気料の支払を行う。	指標名 ( 1 )	私道街路灯の年間修理件数
		指標説明	私道街路灯の年間修理件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設私道街路灯の蛍光ランプ取替、ポール等の塗装、破損修理、故障修理を行うとともに、電気料の支払を行う。	指標名 ( 2 )	電気料助成灯数
		指標説明	私道街路灯の年間電気料助成灯数
		成果指標	私道街路灯修理率
		指標名 ( 1 )	私道街路灯修理件数 ÷ 私道街路灯管理灯数【行政】
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設私道街路灯の蛍光ランプ取替、ポール等の塗装、破損修理、故障修理を行うとともに、電気料の支払を行う。	指標名 ( 2 )	電気料助成率
		指標説明	( 電気料助成灯数 ÷ 電気料助成申請灯数 ) × 100【行政】
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 ( 1 )	1 件	426	585	376	585	299	586	51.1	90.7	
活動指標 ( 2 )	2 灯	8,480	8,500	8,466	8,486	8,477	8,497	99.9		
成果指標 ( 1 )	3 %	5	7	5	7	4	7	57.1		
成果指標 ( 2 )	4 %	100	100	100	100	100	100	100.0		
事業費	5 千円	83,799	94,049	78,927	99,815	90,576	96,156	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	4,677	5,527	5,340	5,924	5,823	5,407		
	上記以外の職員	7 千円	1,814	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	90,290	101,390	86,105	107,577	98,238	103,402			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	90,290	101,390	86,105	107,577	98,238	103,402		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 410

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	私道街路灯故障修理委託		299	件
	光熱水費の支出			39,099
	民有灯の補修 ( 蛍光ランプ等の一斉取替 )	1,830	灯	40,215
	私道街路灯の維持補修工事 ( 破損修理、ポール等の塗装 )			5,148
	その他 ( )			
取組成果	<p>既設私道街路灯の予防保全として、蛍光ランプ等の一斉取替、ポール等の塗装を行い、また事後保全として、故障修理、破損修理を行うことにより、年間を通じて私道街路灯の維持管理に取り組みました。また、町会・自治会等の私道街路灯所有団体からの申請に基づき、電気料の支払を行いました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>私道街路灯の約57%が、光源が長寿命なLED化されたことにより、球切れなど故障発生の低減が期待されるものの、依然として従来光源の蛍光灯が残っているため、引続き私道街路灯の維持管理に努めていく必要があります。</p> <p>また、電気料については、様々な社会情勢の影響により、変化の予測が困難な状況にあります。このような状況下であっても、私道街路灯の安定的な点灯が図られるよう努めていく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	<p>既設私道街路灯の蛍光ランプ等の一斉取替、故障修理や破損修理を行いました。また、年度末に向け、故障修理や破損修理に加え、ポール等の塗装を行います。</p> <p>これらの予算執行については、概ね予算どおりと見込んでいます。また、電気料については、増加傾向にあるものの、予算内で収まる見込みで推移しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>予防保全である蛍光ランプ等の一斉取替の箇所数は、LED化が進んだことにより減少が見込まれます。事後保全である故障修理は、LEDが長寿命であることから減少が見込まれます。一方、電気料については増加傾向にあります。</p> <p>安定的な私道街路灯の点灯のためには、日常的な維持補修は不可欠です。事業としては今後も継続していく必要があります。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>LEDへの移行により、従来光源の蛍光灯が減少することで、蛍光ランプ等の一斉取替の対象数が減少します。また、LEDは長寿命であることから、故障修理の減少が見込まれます。一方、破損修理、ポール等の塗装は現状維持、電気料は増加傾向にあります。このため全体として、予算の方向性は現状維持を見込んでいます。</p>	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00418 )

事務事業名称	民有灯の助成（建設補助）				款	05	項	03	目	04	事業	004	整理番号	411	
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係		連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	412					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和46年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	05							
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	すべての私道利用者	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第232条の2 ( 2 ) 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	私道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、私道の安全性を向上させる。	活動指標	私道街路灯新設数
		指標名 ( 1 )	私道街路灯の年間新設灯数
		指標説明	私道街路灯のLED照明への年間改修灯数
		指標名 ( 2 )	私道街路灯器具改修数
		指標説明	私道街路灯のLED照明への年間改修灯数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民からの申請に基づき、私道にLED街路灯を新設する。 既設私道街路灯をCO2排出量が少なく長寿命で高効率なLED街路灯へ改修する。	成果指標	私道街路灯整備率
		指標名 ( 1 )	( 私道街路灯新設数 ÷ 私道街路灯新設計画数 ) × 100 【行政】
		指標説明	私道街路灯器具改修率
		指標名 ( 2 )	( 私道街路灯器具改修数 ÷ 私道街路灯器具改修計画数 ) × 100 【行政】
		指標説明	

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 灯	11	20	9	20	11	20	55.0	83.4
活動指標 ( 2 )	2 灯	482	500	552	1,090	906	1,090	83.1	
成果指標 ( 1 )	3 %	55	100	45	100	55	100	55.0	
成果指標 ( 2 )	4 %	96	100	110	100	83	100	83.0	
事業費	5 千円	38,849	39,411	39,009	94,695	79,019	94,695	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,871	2,296	2,253	5,590	5,573	5,324	実行計画の改定により、改修計画数量が見直されたことにより、事業費が前年度から増加しました。 また私道街路灯器具改修工事において、予定額と落札額に差があったため、工事請負費に執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	40,720	41,707	41,262	100,285	84,592	100,019		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	40,720	41,707	41,262	100,285	84,592	100,019	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 411

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	私道街路灯の新設	11	灯	4,439
	私道街路灯の改修	906	灯	74,580
	その他 ( )			
取組成果	私道街路灯新設・改修工事、私道街路灯器具改修工事により、私道街路灯の新設と既設私道街路灯のLED化に取り組みました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	私道街路灯の新設については、通行者の安全や防犯のため、状況に応じて対応していきます。 私道街路灯の改修については、既設私道街路灯のLED化率は約57%であり、未改修の私道街路灯が多く残っているため、これらを計画的に改修していく必要があります。
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	私道街路灯の新設と改修 (LED化) について、計画の約半数を概ね予定どおり行いました。また年度末に向け、私道街路灯の新設と改修 (LED化) の残り予定数を行います。 これらの予算執行については、概ね予算額どおりと見込んでいます。
事業の方向性・改善策	私道街路灯の新設は、通行者の安全などのため、今後も継続していく必要があります。また私道街路灯の改修はLED化の完了に向け、引続き取り組む必要があります。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	私道街路灯の新設は、通行者の安全などのため事業に取り組む必要があります。また私道街路灯の改修は、LED化完了予定の令和8年度に向け、引続きLED化を進めていきます。	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00419 )

事務事業名称	交通安全運動の推進				款	05	項	03	目	05	事業	001	整理番号	412	
現担当課名	杉並土木事務所		係名	交通安全係		連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	413					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和40年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	02							
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区民及び道路利用者、各署交通安全協会、杉並区交通安全協議会、各地域交通安全活動推進委員協議会	根拠法令等 ( 1 ) 地方自治法第232条の2 ( 2 ) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1～3項
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故発生件数を減少させる。幅広い年齢層にむけ自転車安全利用講習会等を開催し自転車事故を減少させる。	活動指標 指標名 ( 1 ) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 指標説明 指標名 ( 2 ) 自転車安全利用講習会参加者
事業内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	交通安全啓発活動および啓発用品の配布を行う。区立小学校4年生を対象に自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。中学生を対象としたスタントマンを利用した自転車安全教室を実施する。一般を対象とした出前型の交通安全教室を実施する。ナビライン設置など自転車通行空間を整備する。交通安全協会等への補助金を交付する。	指標説明 小学校の自転車安全利用講習会参加者数に、区主催の一般向け自転車講習会参加者数を加えた合計数 成果指標 指標名 ( 1 ) 交通事故件数の減少件数 指標説明 前年事故件数 - 当年事故件数【社会】 指標名 ( 2 ) 自転車事故件数の減少件数 指標説明 前年事故件数 - 当年事故件数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 時間	371	500	432	500	543	500	108.6	93.0
活動指標 ( 2 )	2 人	3,143	3,300	3,587	3,300	3,622	3,300	109.8	
成果指標 ( 1 )	3 件	224	50	49	17	6	17	35.3	
成果指標 ( 2 )	4 件	74	40	38	8	13	8	162.5	
事業費	5 千円	52,044	58,173	52,983	46,285	43,036	45,997	特記事項	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	6 千円	16,472	13,860	13,849	10,429	9,150	10,643	
	上記以外の職員	7 千円	3,628	3,628	3,675	5,513	3,678	3,678	
総事業費 ( 5+6+7 )	8 千円	72,144	75,661	70,507	62,227	55,864	60,318		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	10,736	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 9+10+11 )	12 千円	10,736	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 ( 8-12 )	13 千円	61,408	75,661	70,507	62,227	55,864	60,318	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 412

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	交通安全啓発活動		543	時間
主な取組	各種団体への支援	4	団体	4,634
	スタントマンによる自転車安全利用講習会開催	7	回	1,694
	自転車通行空間整備	3,400	m	27,049
	その他 ( 自転車交通量調査委託ほか )			2,342
取組成果	<p>自転車利用のルール・マナーの周知を図るため、小学校での自転車安全利用実技講習会、中学校でのスタントマンによる自転車安全利用講習会、マナーアップ街頭キャンペーン活動及び一般を対象とした自転車安全利用講習会を区内各地で実施するとともに広報や公式ホームページ、YouTube・SNS等を利用して発信するなど、自転車安全利用の啓発活動を行いました。</p> <p>また、自転車通行における安全性向上のため、自転車ナビラインなど路面標示の設置等を行い自転車走行空間を整備しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>令和4年は前年に比べ交通事故全体の発生件数が6件、自転車の交通事故発生件数は13件の増となっています。令和4年の自転車事故発生件数が増えた要因は、令和2年の新型コロナウイルス感染拡大により外出を控える方が多く、自転車の利用が減少傾向にありましたが、令和3年からコロナ禍のような自転車を利用する日常生活に戻ったことなどが考えられます。</p> <p>自転車事故関与率は増加傾向にあり、都内平均を上回っています。自転車関与事故の更なる減少に向けて警察・交通安全協会・地元商店会など関係機関と連携し自転車事故防止対策を行うと共に、自転車通行空間の整備を進めていきます。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>小学校での自転車安全利用実技講習会を20校、中学校でのスタントマンによる自転車安全利用講習会を4校で実施しました。また、警察署、交通安全協会と協働で交通安全街頭キャンペーンを21回、交通安全のつどいなどのイベントを2回、事業所、高校などを対象とした出前型自転車講習会を区内各所で6回実施しました。各事業とも概ね予定通りに実施されています。</p> <p>このほかにも、区広報紙や公式ホームページをはじめ、YouTubeやTwitterなどの公式SNSも活用した啓発も行なっています。また、自転車通行の安全性向上のため、自転車ナビラインの設置を1月から2月に予定しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>自転車関与と事故の減少には、警察署、交通安全協会、地域が連携し、自転車利用者の交通ルール遵守、交通マナー向上のための自転車安全利用講習会の開催や交通安全キャンペーンの展開などの啓発活動が必要です。</p> <p>また、令和5年4月から、全ての自転車利用者に対し、自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことに合わせ、自転車利用者のヘルメット着用率向上と安全利用促進を図るため、ヘルメット着用促進講習会開催などの啓発活動も進めます。</p> <p>自転車通行の安全性を確保するため、自転車ナビラインなどの路面標示を設置し、自転車通行空間の整備を行います。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>自転車利用者の交通ルールの遵守、交通マナーの向上、ヘルメット着用による安全確保を図るため、小中学生や一般向けの自転車安全利用講習会、ヘルメット着用促進講習会や各種の交通安全キャンペーンなどの啓発活動を継続的に進めていきます。また、自転車通行空間の整備も進めていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00420 )

事務事業名称	交通安全施設の維持補修			款	05	項	03	目	05	事業	002	整理番号	413
現担当課名	杉並土木事務所		係名	交通安全係			連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	414		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和36年度												
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区が管理する道路の利用者	根拠法令等 ( 1 ) 地方自治法第281条の2第2項 ( 2 ) 道路法第42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全施設の機能保持のため、施設維持管理及び補修を行い、道路利用者の安全を確保する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 交通安全施設の補修件数 指標説明 指標名 ( 2 )
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	老朽化及び車両衝突等により破損した交通安全施設の補修を行う。 自発光式交差点鏡 (太陽電池式・配電式) の清掃を行うとともに配電式の電気料金を支払う。	成果指標 指標名 ( 1 ) 交通事故件数の減少件数 指標説明 前年事故件数 - 当年事故件数【社会】 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度 対計画比 (%)	令和 4年度 予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 ( 1 )	1 件	463	500	519	500	461	500	92.2	99.1	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 件	224	50	49	17	6	17	35.3		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	60,089	59,576	58,954	62,394	61,833	65,437	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,925	14,200	14,183	14,016	12,311	11,645		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	919	1,839	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	73,014	73,776	73,137	77,329	75,983	77,082			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	73,014	73,776	73,137	77,329	75,983	77,082		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 413

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	道路反射鏡等補修 (道路反射鏡、防護柵、標識の修理ほか)	461	件	58,868
	交通安全施設清掃委託等 (自発光式交差点鈺)	654	基	1,721
	自発光式交差点鈺電気料金の支出	7	基	48
	その他 ( 原材料費ほか )			1,196
取組成果	<p>区内小学校において、警察、学校、PTAと合同の通学路点検を実施し、薄くなった区画線の引き直しや路面ステッカー、すべり止め舗装などの補修を実施しました。                      防護柵や道路反射鏡など車両事故による緊急補修の実施、特に車両の接触による道路反射鏡の鏡面向き直しが多い状況です。                      自発光式道路鈺は、全箇所(point)の点検及び清掃を実施しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>狭い道路に設置している交通安全施設も多いことから、車両衝突等の外的要因による破損に対する補修が多い状況が続いています。特に車両の接触による道路反射鏡の鏡面向き直しが多い状況です。</p> <p>また、鏡面が損傷している場合は、ガラス面から耐久性に優れているステンレス面へ変更しています。巻き込み防止の防護柱・ポストコーン・路面ステッカー・すべり止め舗装など、より効果的な製品を活用し注意喚起を図っています。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>区内小学校において、警察署、学校、PTAと合同の通学路点検を実施し、薄くなった区画線の引き直しや路面ステッカー、すべり止め舗装などの補修を実施しました。                      防護柵や道路反射鏡など車両事故による緊急補修の実施、特に車両による道路反射鏡の鏡面向き直しが多い状況です。                      自発光式交差点鈺は、全箇所(point)の点検及び清掃を実施しました。                      引き続き、年度末に向けて通学路点検の実施及び各交通安全施設の補修を実施します。予算執行状況については、スケジュール管理をしながら進めており、年度末に向けて着実に執行します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>車両衝突等による破損施設の迅速な補修や老朽化した施設の補修等を実施することで、道路利用者の安全を確保していきます。また、施設の補修の際には耐久性に優れた部材への変更や施設の小型化を図るなど、効率的な維持管理を行っていきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>車両衝突等による破損施設の迅速な補修や老朽化した施設の補修等を実施することで、道路利用者の安全を確保していきます。また、施設の補修の際には耐久性に優れた部材への変更や施設の小型化を図るなど、効率的な維持管理を行っていきます。                      自発光式交差点鈺については、年に一度、点検及び清掃を実施し、施設の健全性確保に努めていきます。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00421 )

事務事業名称	交通安全施設の整備				款	05	項	03	目	05	事業	003	整理番号	414	
現担当課名	杉並土木事務所		係名	交通安全係		連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	415					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和36年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	杉並土木事務所								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象	区が管理する道路の利用者	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第281条の2第2項 ( 2 ) 道路法第45条、第85条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全施設を整備・拡充させることにより、交通事故の防止及び減少を図る。	活動指標	道路反射鏡の整備数 (実計数値)
		指標名 ( 1 )	道路反射鏡の新設・改良数
		指標説明	道路反射鏡の新設・改良数
		指標名 ( 2 )	自発光式交差点鉤の整備数 (実計数値)
		指標説明	自発光式交差点鉤の新設・改良数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	道路反射鏡、自発光式交差点鉤、防護柵等の施設を、区域別に順次新設及び改修等を行い交通安全の充実を図る。 道路標識及び道路反射鏡は、道路付属物維持管理指針に基づき、計画的な更新を図るとともに案内標識等の改修に併せて表示内容の英語併記化を図る。	成果指標	道路反射鏡の新設・改良数【行政】
		指標名 ( 1 )	道路反射鏡の新設・改良数【行政】
		指標説明	道路反射鏡の新設・改良数【行政】
		指標名 ( 2 )	自発光式交差点鉤の新設・改良数【行政】
		指標説明	自発光式交差点鉤の新設・改良数【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度対計画比 (%)	令和 4年度予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 ( 1 )	1 基	103	112	108	118	96	118	81.4	95.4	
活動指標 ( 2 )	2 基	43	50	33	50	34	50	68.0		
成果指標 ( 1 )	3 基	103	112	108	118	96	118	81.4		
成果指標 ( 2 )	4 基	43	58	33	50	34	50	68.0		
事業費	5 千円	167,591	142,233	137,680	165,364	157,785	192,215	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	37,668	38,835	38,750	42,254	37,588	36,678		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	919	1,839	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	205,259	181,068	176,430	208,537	197,212	228,893			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	205,259	181,068	176,430	208,537	197,212	228,893		

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 414

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	道路反射鏡新設・改良	96	基	46,259
	自発光式交差点舗新設・改良	34	基	7,993
	視覚障害者誘導ブロック新設・改良	403	枚	9,251
	道路案内標識改良	1	基	4,301
	その他 ( すべり止め舗装新設・改良ほか )			89,981
取組成果	道路付属物維持管理指針により予防保全のため、道路反射鏡 ( 66基 ) 道路案内標識 ( 1基 ) 地点名標識 ( 8枚 ) の更新を行いました。標識等の改修に合わせて表示内容の英語併記化を行いました。それ以外の交通安全施設については、順次新設及び改修等の整備を行いました。			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	道路反射鏡及び道路案内標識は、道路付属物管理指針により予防保全のための更新を行いました。それ以外の交通安全施設については、区域別に順次新設及び改修等の整備を行いました。また、外国人にわかりやすい表示とするため、道路案内標識改修に表示内容の英語併記化を図ります。 自転車のスピードやマナーに関する苦情・要望が増えています。注意喚起のための看板設置や路面標示などを行い自転車が関与する事故の減少に努めていきます。
課題・分析 ( 2 / 2 )	
現年度の取組成果・予算執行状況 ( 年度末までの見込含む )	道路反射鏡、道路案内標識、地点名標識は、実行計画に基づき計画的に更新を実施します。また、地点名標識等の改修に合わせて表示内容の英語併記化を実施します。 それ以外の交通安全施設については、年度末に向けて順次新設及び改修等の整備を実施します。予算の執行状況については、スケジュール管理をしながら進めており、年度末に向けて着実に執行します。
事業の方向性・改善策	交通安全施設の更新は、実行計画に基づき、計画的かつ効率的に進めていきます。また、外国人にもわかりやすい表示とするため道路案内標識改修に併せて表示内容の英語併記化を図ります。

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	交通安全施設は、実行計画及び道路付属物維持管理指針に基づき、予防保全のための更新を進めていきます。また、外国人にもわかりやすい表示とするため道路案内標識改修に併せて表示内容の英語併記化を図ります。さらに、杉並区自転車ネットワーク計画に基づき路面表示の設置を行うなど自転車通行空間整備と連携しハード・ソフトの両面から交通安全対策を実施することで、自転車が関与する事故の減少を図ります。	



# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00422 )

事務事業名称	南北バスの運行			款	05	項	03	目	05	事業	004	整理番号	415
現担当課名	都市整備部管理課		係名	交通企画担当			連絡先電話番号	3514		昨年度整理番号	416		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 4年度担当課名	都市整備部管理課							事業評価区分	一般				

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( Plan )

対象 区内在住者、通勤・通学者、来訪者	根拠法令等 ( 1 ) 杉並区南北バス運行協定書 ( 2 ) 道路運送法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 南北バス「すぎ丸」3路線を安全かつ持続的に利用できるように努める。	活動指標 指標名 ( 1 ) 南北バス「すぎ丸」運行本数 指標説明 運行事業者の決算資料による 指標名 ( 2 )
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 南北バス「すぎ丸」3路線を継続して運行する。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 南北バス「すぎ丸」年度総利用者数 指標説明 運行事業者の決算資料による【行政】 指標名 ( 2 ) 南北バス「すぎ丸」の収支率 指標説明 運行事業者の決算資料による【行政】

## 指標、総事業費 ( Plan・Do )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 本	79,318	79,364	79,304	79,364	79,316	79,400	99.9	84.7
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3 人	826,678	1,190,000	946,290	1,190,000	1,021,539	1,160,209	85.8	
成果指標 ( 2 )	4 %	53.2	74.4	61.8	74.4	68.0	74.4	91.4	
事業費	5 千円	120,975	97,141	86,486	90,861	76,965	120,367	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	11,479	6,802	19,022	8,343	10,231	8,318	「杉並区地域公共交通計画」に基づき、成果指標の変更を行っています。すぎ丸のEV車両購入を予定しているため事業費が増加しています。すぎ丸の利用者が回復傾向にあるため、補助金の支出が抑えられ執行残が生じています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	132,454	103,943	105,508	101,042	89,035	130,524		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,403	0	0	0	0	19,833	
	その他の補助金等	11 千円	4,214	4,365	4,365	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	9,617	4,365	4,365	0	0	19,833	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	122,837	99,578	101,143	101,042	89,035	110,691	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 415

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	既存路線の運行 (運行経費)	3	路線	76,713
	既存路線の運行 (啓発・PR)	3	路線	252
	その他 ( )			
取組成果	<p>令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、利用者数が100万人を下回っていましたが、令和4年度には再び利用者数100万人を超えることができました。また、運行に関する要望や事故等についても、運行事業者と連携し迅速かつ確実に対応しました。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>公共交通サービスの公平な提供を確保するという観点から、公共交通が不足している地域の交通改善については、南北バス「すぎ丸」の3路線の開通により、公共交通不便地域の解消として一定の成果を上げてきました。しかし、利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から令和2年度は大きく減少しています。令和4年度にかけて緩やかに回復していますが、コロナ前の状況に戻るのには難しいと考えます。</p> <p>今後は「すぎ丸」の持続可能な運行に向けて、杉並区地域公共交通計画に基づき、人件費をはじめ必要経費が上昇している状況も踏まえ、利用者や行政負担の在り方について議論していく必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>「すぎ丸」は、主に道幅が狭い道路を運行していることから、バス停の待合スペースを十分に確保できないなど、一部のバス停では安全性や利便性に課題があります。</p> <p>こうしたバス停に関する安全性の確保や利便性の向上には、区と運行事業者で十分に連携を図りながら取組を進めていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>浜田山駅バス停において、上屋の雨漏りが報告されたため、上屋の点検及び清掃を実施し待合スペースの安全性、利便性向上を図りました。</p> <p>バス車両の買い替え時期に合わせてバス事業者と共に、環境にやさしい電気バスの導入に向けた手続きを実施しています。なお、導入にあたっては、国や都の補助金を活用することで、財政的な負担の軽減を図りました。</p> <p>すぎ丸に関するホームページの内容について、見やすく分かりやすい情報提供のあり方を検討したうえで、内容を修正し利用者の利便性向上を図りました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>すぎ丸の魅力を高めるために、「すぎ丸の日」等のイベントを開催し、すぎ丸の知名度を上げることで、利用者数の増加を図るとともに、バス情報のオープンデータ化を進め、時刻表など運行情報を広く発信し、利便性の向上を図ります。さらに、利用状況や区民の移動需要を踏まえて、回送区間の営業化、運賃設定の検討など、区民ニーズを捉えながら運行事業者と共に検討を進めます。</p> <p>また、車両買い替えの際は、電気バスの導入を検討し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進します。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>すぎ丸の利用者数は、コロナ禍から回復傾向にあります。バスの運行については、人件費をはじめ必要経費が上昇することが考えられます。次年度の予算に関しては、運行事業者と協議し必要な経費を精査します。また、一人でも多くの区民の生活の足となるよう一層利用拡大を図るため、バス停等の環境美化に努め、利用者が利用しやすい環境整備を推進するとともに、イベント等ですぎ丸のPRを実施するなど、魅力を高める取組を実施します。</p> <p>すぎ丸の運行を維持していくことが、福祉・環境・商業・防災などの様々な分野に波及効果があると考えられることから、今後も持続可能な運行ができるよう、運行のあり方を決める運行計画や運行協定の見直しを検討します。</p>	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

( 00474 )

事務事業名称	通学路の設置管理				款	07	項	01	目	03	事業	004	整理番号	464	
現担当課名	学務課		係名	学事係		連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	465					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和38年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	学務課								事業評価区分	一般					

## 令和 4年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小学校児童	根拠法令等	( 1 ) 交通安全対策基本法第4条 ( 2 ) 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、同施行令
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童を交通事故や犯罪から守り、登下校時並びに地域における安全を実現する。	活動指標	通学案内等実施地点数
		指標名 ( 1 )	児童が安全に登下校できるよう、通学の案内及び交通指導を実施する地点
		指標説明	通学路点検実施校数
		指標名 ( 2 )	学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路の安全点検を実施した学校数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○区立小学校に通う児童が安全に登下校ができるように、通学の案内及び交通指導を行う。 安全性が高いと判断される道路に登下校時の通学路に指定し、関連部署とともに実施点検や安全対策管理を行う。 児童が安全に通行できるように、電柱に「文」標識を取り付け、通学路であることを周知する。 子ども安全ボランティア活動や学校安全マップ作成を支援する。	指標説明	登下校時に交通事故に遭った児童数
		成果指標	【社会】
		指標名 ( 1 )	子ども安全ボランティア数
		指標説明	児童の登下校時の安全や放課後の見守りなどのため活動しているPTAその他のボランティア【社会】

## 指標、総事業費 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 組	165	165	168	168	171	171	101.8	94.9
活動指標 ( 2 )	2 校	16	10	12	10	10	9	100.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	13	0	7	0	9	0	0.0	
成果指標 ( 2 )	4 人	13,910	14,690	14,690	14,000	14,017	14,168	100.1	
事業費	5 千円	34,505	13,199	12,886	182,442	173,166	249,335	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	8,248	3,741	3,504	4,422	3,410	4,325	○通学路防犯カメラの設置が令和2年度で終了したため、令和3年度の事業費が減少しています。 ○令和4年度から通学案内及び交通指導に係る事業が移管されたことから、事業費が大幅に増加しています。 ○通学案内及び交通指導に係る事業の移管に伴い、活動指標 ( 1 ) を「通学路標識の取替え組数」から「通学案内等実施地点数」に変更しました。 ○成果指標 ( 1 ) の計画 (目標値) は、0人としています。
	上記以外の職員	7 千円	0	363	0	0	368	368	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	42,753	17,303	16,390	186,864	176,944	254,028		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	11,786	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	11,786	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	30,967	17,303	16,390	186,864	176,944	254,028	

# 令和 5年度杉並区事務事業評価シート

## 令和 4年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 464

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	通学案内及び交通指導等業務委託	171	所	156,887
	通学路防犯カメラ整備 (保守点検委託、電気料金等)	294	台	10,223
	通学路標識の取替	535	組	4,301
	学校安全マップの作成	33,000	部	1,202
	その他 (通学路線図の作成、子ども安全ボランティア傷害保険料の支出 )			553
取組成果	<p>区立小学校児童の登下校に係る通学路の要所において、安全な道路の横断を促す等の通学案内・交通指導業務を委託し、児童の事故防止に努めました。</p> <p>また、令和3年度に引き続き、学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路における合同点検等を計画的に実施しました。</p> <p>通学路における危険箇所を確認する学校安全マップは全児童に配布したほか、区役所に全校のマップを展示し共有しています。</p>			

## 令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 ( C h e c k ・ A c t i o n )

課題・分析 ( 1 / 2 )	<p>自家用車の普及に伴い、昭和40年代から交通事故が増大してきました。児童の通学における安全確保のため、通学路の設定・整備や交通規制といった対策を講じてきました。通学路については、交通量の変化などを踏まえ、必要に応じて設定、変更をしながら、児童の安全確保を図っているところです。</p> <p>平成26年度から令和2年度にかけて、東京都の補助金を活用して通学路等防犯カメラを整備し、防犯対策の視点からも通学路の安全確保を図ってきたところですが、耐用年数の経過により、計画的に機器の入替を行う必要があります。</p>
課題・分析 ( 2 / 2 )	<p>また、通学道路標識は、数が膨大であり、標識ごとに劣化の状態が異なるため、経過年数に応じた計画的な取替や通学路点検などの際の状況確認に基づく対応をしているところです。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>これまで区立小学校40校について通学案内及び交通指導等を行っていましたが、今年度から、済美養護学校を対象に加えました。通学路防犯カメラについては、耐用年数を経過しているものについてはリース契約により更新していくほか、直ちに交換が必要なものについても、随時、対応しています。また、富士見丘小学校移転に伴い、学校関係者と調整し通学路を設定するとともに、横断歩道の設置に向けて警察署と協議を進めたほか、一部地域からの通学距離の長距離化や2本以上の幹線道路横断による児童の負担軽減のため、試行的にスクールバスの運行を開始しました。</p> <p>現時点の予算執行率は約30% (支出負担率は約90%)です。通学案内及び交通指導等業務委託は、規模等が変動するため、執行残が生じる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>登下校時に交通事故に遭った児童数は、令和3年度は令和2年度の13人から減少し7人でしたが、令和4年度には9人に増加しています。区としては常に0人となるよう、引き続き、通学路における合同点検等を計画的に実施し危険箇所の解消や注意喚起を行うとともに、学校安全マップの作成・配布、通学案内及び交通指導等業務を実施していきます。</p>

## 令和 6年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>来年度は防犯カメラを更新する台数が今年度より多いことや、今年度は約半年だったスクールバスの試行的運行期間が、来年度は1年間となることに伴い、それぞれ経費の増加が見込まれます。その他、通学道路標識の取替や学校安全マップの作成など、児童の安全に向けた予算を維持する必要があります。</p> <p>通学案内及び交通指導等業務委託費用は、変動要因を踏まえて見直しに努めます。</p>	